

今後の進め方の変更について

(1) 既存資料の活用 [第 10 回設立準備会資料 (10/11 開催)]

- ① 取り組みアイデアの優先度 [10/11 資料 2-1、2-2]
- ② 重要性と実現性からの優先順位 [10/11 資料 4]
- ③ 準備会構成団体による既存のまちづくり活動 [10/11 資料 5]
- ④ 重要性・実現性と準備会構成団体による既存のまちづくり活動について [10/11 資料 6]

(2) 取り組み項目決定手順

[第 1 段階] (12 月 13 日開催会議で検討予定)

目的は、全 59 項目のうち、設立当初 3 年間で取り組む項目を選ぶこと。
下表の手順①から④により、第 2 段階の検討に進む決定プロセスとする。

手順	手順内容
①	重要性と実現性が共に平均点を超えた 16 項目は、優先的に第 2 段階の検討に進む [10/11 資料 4]
②	全 8 分野の取り組み実施を検討したいため、[子育て・青少年の育成] と [地域活動の参加者・担い手] から第 2 段階の検討に進む項目をグループワークで意見交換をして選ぶ
③	①・②の手順以外で、第 2 段階の検討に進むべき項目があれば、グループワークで検討をして選ぶ
④	コロナ禍を理由に実施が必要な新規事業があれば、グループワークで意見交換をして提案する。

※地域まちづくり支援職員等 (2 名) が進行役、書記として参加します
[資料 4 参照]

[第 2 段階] (1 月以降開催会議で検討予定)

目的は、第 1 段階で選ばれた取り組み項目に対して、それぞれ具体的に
取り組む内容を検討し決定する。(分野横断しての集約なども含む)

(3) 次回会議までの検討事項 (各委員への宿題となります)

手順	事前記入内容
②	[子育て・青少年の育成] と [地域活動の参加者・担い手] の 2 分野から第 2 段階の検討に進む項目を 1 つ以上選択し、選択した理由をシートに記入する。
③	①・②の手順以外で、第 2 段階の検討に進むべき項目があれば選択し、選択した理由をシートに記入する。
④	コロナ禍を理由に実施が必要な新規事業があれば、事業名 (事業概要) と提案理由をシートに記入する。

事前記入シートをもとに、次回会議でグループワーク実施予定